

TITLE OF THE INVENTION

デジタルデータ配信システム

BACKGROUND OF THE INVENTION

1) FIELD OF THE INVENTION

本発明は、ネットワークを介してデジタルデータを有料販売する電子商取引(Electronic Commerce)を実現するデジタルデータ配信システムに関する。

2) DESCRIPTION OF THE RELATED ART

ネットワークを介した電子商取引では、一般に情報提供者が開設したホームページに消費者がアクセスし、好みのデジタルデータを選択し、購入処理を行いダウンロードを行う。ダウンロードされたデジタルデータは、ネットワークを通じて違法に二次配布されることを防ぐために、暗号化などの著作権を保護する処理を施される。

以下従来のデジタルデータ配信システムの一例を、図1を用いて説明する。

配信されるデジタルデータは、暗号化された状態で、情報提供者が運用している配信サーバー101内の、配信デジタルデータ記録手段105に記録されている。その復号鍵と、暗号化デジタルデータ自体の記録場所情報と、そのデジタルデータの利用条件情報は、デジタルデータ管理データベース104に記録されている。利用条件情報は、例えば、ダウンロード後のデジタルデータは3回だけ他の記録媒体にコピーすることを許可するといった情報である。

消費者は、受信端末102を操作して、送受信手段108、通信手段109を通じて、配信サーバー101にアクセスする。

配信フロントエンド106は、デジタルデータ管理データベース104の情報に基づいて作成された、配信用音楽デジタルデータの一覧情報を、受信端末102に送信する。消費者はブラウズ手段110を用いてその一覧情報を閲覧し、配信を希望するデジタルデータがあると、そのデジタルデータの購入要求とユーザー名を配信サーバー101に送信する。配信フロントエンド106は、送信されたユーザー名が、ユー

ユーザー管理データベース 103 に含まれていない場合、クレジットカード番号などの支払い情報の入力要求をブラウズ手段 110 に行う。消費者はブラウズ手段 110 を通じて要求されている支払い情報を入力し、配信サーバー 101 に送信する。配信フロントエンド 106 は同支払い情報をユーザ管理データベース 103 に記録し、支払い処理を行う。ユーザー名が、ユーザー管理データベース 103 に含まれている場合には、ユーザー管理データベース 103 に記録されている支払い情報を用いて、支払い処理を行う。支払い処理が正常に処理されると、配信フロントエンド 106 は、デジタルデータ配信手段 107 にたいし、配信を要求されているデジタルデータを、受信端末 102 へ送信するよう指示する。デジタルデータ配信手段 107 は、配信デジタルデータ記録手段 105 から指示されたデジタルデータを、デジタルデータ管理データベース 104 から同デジタルデータの復号鍵と利用条件情報を取り出し、受信端末 102 へ送信する。デジタルデータ管理手段 111 は、受信したデジタルデータをデジタルデータ記録手段 113 に記録し、受信した復号鍵と利用条件情報を、セキュア情報記録手段 112 に記録する。セキュア情報記録手段 112 では、これらのデータを、受信端末 102 に関連付けられた情報で暗号化して記録している。

また、ユーザーが、受信端末 102 上で、デジタルデータを再生する場合、デジタルデータ管理手段 111 は、暗号化された状態のデジタルデータを記録媒体 113 から読み出し、その復号鍵をセキュア情報記録手段 112 から読み出して、デジタルデータの復号化を行う。

また、記録媒体 114 に書き込まれたデジタルデータを、他の可搬性の記録媒体 117 にコピーする場合、まず、デジタルデータ管理手段 111 は、セキュア情報記録手段 112 に記録されている利用条件情報と、過去にコピーした回数情報であるコピー履歴情報を参照し、デジタルデータのコピーを行っても良いかどうかを判定する。デジタルデータ管理手段 111 がコピーを行っても良いと判定した場合、媒体アクセス処理制御手段 114 は、デジタルデータ管理手段 111 から、デジタルデータと、その復号鍵を受け取り、記録媒体アクセス手段 116 を介して、記録媒体 117 にコピーする。この際、復号鍵については、媒体 ID 検出手段 115 によって検出された、

記録媒体 117 固有の ID である媒体 ID 118 を利用して暗号化した上でコピーを行うものとする。記録媒体 117 へのデジタルデータのコピーが完了すると、デジタルデータ管理手段 111 は、セキュア情報記録手段 112 に記録されているコピー履歴情報を 1 増やす。

このように従来の技術では、配信サーバーではユーザー情報のみをデジタルデータ配信制御に利用し、受信端末では、デジタルデータの復号鍵、デジタルデータの利用権利情報、およびデジタルデータの利用履歴情報を通常の消費者の操作ではアクセスすることのできない特別なセキュア情報記録手段 112 で管理する。

また、このような従来のデジタルデータ配信システムは、悪意のある消費者から、例えばデジタルデータの配信サーバー 101 からの違法入手や、受信端末 102 に配信されたデジタルデータの違法二次配布等のハッカー行為を受ける可能性が常にある。そのため、特に、デジタルデータの権利管理を行う部分（デジタルデータ管理手段 111、セキュア情報記録手段 112）、および、記録媒体へのデジタルデータのコピーを安全に行う記録媒体へのインターフェース部分（媒体アクセス処理制御手段 114、媒体 ID 検出手段 115）については、タンパレジスタント技術が多かれ少なかれ施されている。

しかしながら上記従来の構成では、受信端末内でのタンパレジスタント技術の実装が必要不可欠であり、以下のような課題を有していた。

タンパレジスタント技術は、それを施す対象となる端末の構成に密接にかかわる。その為、例えば、構成の異なる複数の端末が存在する場合などには、端末毎に、タンパレジスタント技術の開発を行う必要が生じる。これは、端末を製造・販売するメーカーにとっては、非常に負担となる。また、デジタルデータの配信サービスを行う業者にとっても、新しいサービスを開始しようとする際に、構成の異なる複数の受信端末において、そのサービスを受信できるようにする為には、それぞれの受信端末に対してタンパレジスタント技術を開発しなくてはいけないということになると、新しいサービスを開始しにくい。

SUMMARY OF THE INVENTION

本発明は、このような状況に則して考えられたものであって、デジタルデータの権利管理をサーバーで行い、かつ、記録媒体へのインターフェース部分を、記録媒体へアクセスするアダプタ内で実装することによって、受信しようとするサービスに対応したアダプタを接続することで、構成の異なる複数の受信端末においても、その構成の違いを意識することなく、同じように、各種サービスを受信することが可能となるシステムを提供することを目的とする。

以上のような課題を解決するため、本発明の請求項 1 のデジタルデータ配信システムは、

デジタルデータを配信する配信サーバーと、

配信サーバーから配信されるデジタルデータを受信する受信端末と、

受信端末が受信したデジタルデータの書き込み先となる記録媒体と、

受信端末が受信したデジタルデータを記録媒体へ書き込むアダプタと

によって構成され、

受信端末は、

配信サーバーにアクセスするための通信手段と、

配信サーバーから送られてくる情報を閲覧しそれに応答するためのブラウズ手段と、

アダプタとの接続を制御するアダプタ接続制御手段と

を有し、

記録媒体は、改竄不可能な、その記録媒体を一意に識別することのできる固有の情報

である媒体 ID を有し、

アダプタは、

セキュア通信手段と、

そのアダプタを一意に識別することのできるアダプタ ID と、

アダプタ ID を抽出し、配信サーバーへ送信するアダプタ ID 検出手段と、

記録媒体から、媒体 ID を抽出し、配信サーバーへ送信する媒体 ID 検出手段と、

記録媒体にたいしてデータの読み書きを行う記録媒体アクセス手段と、

記録媒体アクセス手段による記録媒体への読み書きを制御する媒体アクセス処理制御手段とを有し、
配信サーバーは、
セキュア通信手段と、
情報やデジタルデータを受信端末に送受信するための送受信手段と、
ユーザーへ送信する情報の生成およびユーザーからのアクセスを処理する配信フロンティエンドと、
ユーザー ID と関連するユーザーのアカウント情報を記録するユーザー管理データベースと、
配信するデジタルデータの利用条件や格納場所の情報を記録するデジタルデータ管理データベースと、
各ユーザーが取得しているデジタルデータの配信を受ける権利に関する情報を記録する取得権利管理データベースと、
ユーザーが過去に配信を受けたデジタルデータに関する情報を記録する履歴データベースと、
各ユーザーが使用しているアダプタのアダプタ ID を記録するアダプタ管理データベースと、
各ユーザーが使用している記録媒体の媒体 ID を記録する記録媒体管理データベースと、
暗号化されたデジタルデータと、暗号化されたデジタルデータを復号する復号鍵を記録する配信デジタルデータ記録手段と、
配信デジタルデータ記録手段に記録された復号鍵を、媒体 ID 検出手段から送られてくる媒体 ID をを利用して暗号化する鍵暗号化手段と、
配信フロントエンドからの指示に基づいて、受信端末にたいし、配信デジタルデータ記録手段に記録された暗号化されたデジタルデータと、鍵暗号化手段によって暗号化された復号鍵とを送信するデジタルデータ配信手段とを有し、
アダプタ内のセキュア通信手段と、配信サーバー内のセキュア通信手段は、互いに通

信しあい、アダプタと配信サーバー間にセキュアな通信経路を構築し、
アダプタ内の各構成要素と、配信サーバー内の各構成要素との通信は、セキュア通信
手段によって構築されたセキュアな通信経路を使用して行われ、
配信フロントエンドは、
アダプタＩＤ検出手段から送信されてくるアダプタＩＤを利用して、ユーザーの認証
を行い、
認証したユーザーからの、デジタルデータ配信要求に対して、取得済権利管理データ
ベースと、履歴データベースと、デジタルデータ管理データベースと、記録媒体管理
データベースの情報を参照して、配信要求されたデジタルデータが配信可か否かを判
定し、処理を行うとしている。

また、本発明の請求項2のデジタルデータ配信システムは、
デジタルデータを配信する配信サーバーと、
配信サーバーから配信されるデジタルデータを受信する受信端末と、
受信端末が受信したデジタルデータの書き込み先となる記録媒体と、
受信端末が受信したデジタルデータを記録媒体へ書き込むアダプタと
によって構成され、
受信端末は、
配信サーバーにアクセスするための通信手段と、
配信サーバーから送られてくる情報を閲覧しそれに応答するためのブラウズ手段と、
アダプタとの接続を制御するアダプタ接続制御手段と
を有し、
記録媒体は、改竄不可能な、その記録媒体を一意に識別することのできる固有の情報
である媒体ＩＤを有し、
アダプタは、
セキュア通信手段と、
そのアダプタを一意に識別することのできるアダプタＩＤと、
アダプタＩＤを抽出し、配信サーバーへ送信するアダプタＩＤ検出手段と、

記録媒体から、媒体 I Dを抽出し、配信サーバーへ送信する媒体 I D検出手段と、
鍵暗号化手段と、
記録媒体にたいしてデータの読み書きを行う記録媒体アクセス手段と、
記録媒体アクセス手段による記録媒体への読み書きを制御する媒体アクセス処理制御
手段とを有し、
配信サーバーは、
セキュア通信手段と、
情報やデジタルデータを受信端末に送受信するための送受信手段と、
ユーザーへ送信する情報の生成およびユーザーからのアクセスを処理する配信フロン
トエンドと、
ユーザー I Dと関連するユーザーのアカウント情報を記録するユーザー管理データベ
ースと、
配信するデジタルデータの利用条件や格納場所の情報を記録するデジタルデータ管理
データベースと、
各ユーザーが取得しているデジタルデータの配信を受ける権利に関する情報を記録す
る取得権利管理データベースと、
ユーザーが過去に配信を受けたデジタルデータに関する情報を記録する履歴データベ
ースと、
各ユーザーが使用しているアダプタのアダプタ I Dを記録するアダプタ管理データベ
ースと、
各ユーザーが使用している記録媒体の媒体 I Dを記録する記録媒体管理データベース
と、
暗号化されたデジタルデータと、暗号化されたデジタルデータを復号する復号鍵を記
録する配信デジタルデータ記録手段と、
配信フロントエンドからの指示に基づいて、受信端末にたいし、配信デジタルデータ
記録手段に記録された暗号化されたデジタルデータと復号鍵とを送信するデジタルデ
ータ配信手段とを有し、

鍵暗号化手段は、デジタルデータ配信手段によって配信されてくる復号鍵を、媒体ＩＤ検出手段が検出した媒体ＩＤを利用して暗号化し、記録媒体アクセス制御手段は、記録媒体アクセス手段を制御して、鍵暗号化手段が暗号化した復号鍵を、記録媒体へ書き込み、

アダプタ内のセキュア通信手段と、配信サーバー内のセキュア通信手段は、互いに通信しあい、アダプタと配信サーバー間にセキュアな通信経路を構築し、アダプタ内の各構成要素と、配信サーバー内の各構成要素との通信は、セキュア通信手段によって構築されたセキュアな通信経路を使用して行われ、

配信フロントエンドは、

アダプタＩＤ検出手段から送信されてくるアダプタＩＤを利用して、ユーザーの認証を行い、

認証したユーザーからの、デジタルデータ配信要求に対して、取得済権利管理データベースと、履歴データベースと、デジタルデータ管理データベースと、記録媒体管理データベースの情報を参照して、配信要求されたデジタルデータが配信可か否かを判定し、処理を行うとしている。

また、本発明の請求項3のデジタルデータ配信システムは、

デジタルデータを配信する配信サーバーと、

配信サーバーから配信されるデジタルデータを受信する受信端末と、

受信端末が受信したデジタルデータの書き込み先となる記録媒体と、

受信端末が受信したデジタルデータを記録媒体へ書き込むアダプタと

によって構成され、

受信端末は、

配信サーバーにアクセスするための通信手段と、

配信サーバーから送られてくる情報を閲覧しそれに応答するためのブラウズ手段と、

アダプタとの接続を制御するアダプタ接続制御手段と

を有し、

記録媒体は、改竄不可能な、その記録媒体を一意に識別することのできる固有の情報

である媒体 I D を有し、
アダプタは、
セキュア通信手段と、
そのアダプタを一意に識別することができるアダプタ I D と、
アダプタ I D を抽出し、配信サーバーへ送信するアダプタ I D 検出手段と、
記録媒体から、媒体 I D を抽出し、配信サーバーへ送信する媒体 I D 検出手段と、
暗号変換手段と、
鍵暗号化手段と、
記録媒体にたいしてデータの読み書きを行う記録媒体アクセス手段と、
記録媒体アクセス手段による記録媒体への読み書きを制御する媒体アクセス処理制御
手段とを有し、
配信サーバーは、
セキュア通信手段と、
情報やデジタルデータを受信端末に送受信するための送受信手段と、
ユーザーへ送信する情報の生成およびユーザーからのアクセスを処理する配信フロン
トエンドと、
ユーザー I D と関連するユーザーのアカウント情報を記録するユーザー管理データベ
ースと、
配信するデジタルデータの利用条件や格納場所の情報を記録するデジタルデータ管理
データベースと、
各ユーザーが取得しているデジタルデータの配信を受ける権利に関する情報を記録す
る取得権利管理データベースと、
ユーザーが過去に配信を受けたデジタルデータに関する情報を記録する履歴データベ
ースと、
各ユーザーが使用しているアダプタのアダプタ I D を記録するアダプタ管理データベ
ースと、
各ユーザーが使用している記録媒体の媒体 I D を記録する記録媒体管理データベース

と、

第一の暗号化方式で暗号化されたデジタルデータと、第一の暗号化方式で暗号化されたデジタルデータを復号する復号鍵を記録する配信デジタルデータ記録手段と、配信フロントエンドからの指示に基づいて、受信端末にたいし、配信デジタルデータ記録手段に記録された第一の暗号化方式で暗号化されたデジタルデータとその復号鍵とを送信するデジタルデータ配信手段とを有し、

暗号変換手段は、デジタルデータ配信手段によって配信されてくる第一の暗号化方式で暗号化されたデジタルデータを、デジタルデータ配信手段によって配信されてくる復号鍵を使用して復号化し、復号化したデジタルデータを、第二の暗号化方式によつて暗号化し、

鍵暗号化手段は、暗号変換手段がデジタルデータを第二の暗号化方式によって暗号化する際に使用した鍵を、媒体 I D 検出手段が検出した媒体 I D を利用して暗号化し、記録媒体アクセス制御手段は、記録媒体アクセス手段を制御して、鍵暗号化手段が暗号化した鍵を、記録媒体へ書き込むことを特徴とし、

アダプタ内のセキュア通信手段と、配信サーバー内のセキュア通信手段は、互いに通信しあい、アダプタと配信サーバー間にセキュアな通信経路を構築し、

アダプタ内の各構成要素と、配信サーバー内の各構成要素との通信は、セキュア通信手段によって構築されたセキュアな通信経路を使用して行われ、

配信フロントエンドは、

アダプタ I D 検出手段から送信されてくるアダプタ I D を利用して、ユーザーの認証を行い、

認証したユーザーからの、デジタルデータ配信要求に対して、取得権利管理データベースと、履歴データベースと、デジタルデータ管理データベースと、記録媒体管理データベースの情報を参照して、配信要求されたデジタルデータが配信可か否かを判定し、処理を行うとしている。

また、本発明の請求項 4 のデジタルデータ配信制御方法は、

請求項 1 ～ 3 何れかに記載のデジタルデータ配信システムにおいて、

配信フロントエンドが、
アダプタＩＤ検出手段から送信されてくるアダプタＩＤを利用して、ユーザーの認証を行い、
認証したユーザーからの、デジタルデータ配信要求に対して、取得済権利管理データベースと、履歴データベースと、デジタルデータ管理データベースと、記録媒体管理データベースの情報を参照して、配信要求されたデジタルデータが配信可か否かを判定し、処理を行うとしている。
また、本発明の請求項５のデジタルデータ配信システムは、
請求項 1～3 何れかに記載のデジタルデータ配信システムであって、
アダプタは、前記アダプタ内のセキュア通信手段をアップデートするセキュア通信手段アップデート手段を有し、
配信サーバーは、
配信サーバー内のセキュア通信手段をアップデートするセキュア通信手段アップデート手段と、
必要に応じて、アダプタ内のセキュア通信手段アップデート手段と配信サーバー内のセキュア通信手段アップデート手段に、セキュア通信手段のアップデートを行うよう指示するセキュア通信手段アップデート指示手段とを有する。

BRIEF DESCRIPTION OF THE DRAWINGS

図 1 は、従来の技術におけるデジタルデータ配信システムの構成の一例を示す図。
図 2 は、本発明の実施の形態 1 におけるデジタルデータ配信システムの実現形態の一例を示す図。
図 3 は、本発明の実施の形態 1 におけるデジタルデータ配信システムの構成を示す図。
図 4 は、本発明の実施の形態 1 における記録媒体の構成を示す図。
図 5 は、本発明の実施の形態 1 におけるユーザーアカウント情報データベースの一例を示す図。
図 6 は、本発明の実施の形態 1 におけるアダプタ情報データベースの一例を示す図。

図 7 は、本発明の実施の形態 1 における記録媒体情報データベースの一例を示す図。

図 8 は、本発明の実施の形態 1 におけるサービス種別データベースの一例を示す図。

図 9 は、本発明の実施の形態 1 におけるデジタルデータ情報データベースの一例を示す図。

図 10 は、本発明の実施の形態 1 における取得済権利管理データベースの一例を示す図。

図 11 は、本発明の実施の形態 1 における履歴データベースの一例を示す図。

図 12 は、本発明の実施の形態 1 におけるデジタルデータ配信システムの全体の動作の流れを示すフローチャート。

図 13 は、本発明の実施の形態 1 における入会プロセスを説明するフローチャート。

図 14 は、本発明の実施の形態 1 におけるデジタルデータ選択プロセスを説明するフローチャート。

図 15 は、本発明の実施の形態 1 における購読処理プロセスを説明するフローチャート。

図 16 は、本発明の実施の形態 1 における単独販売処理プロセスを説明するフローチャート。

図 17 は、本発明の実施の形態 1 におけるデジタルデータダウンロードプロセスを説明するフローチャート。

図 18 は、本発明の実施の形態 1 における記録媒体正当性チェックプロセスを説明するフローチャート。

図 19 は、本発明の実施の形態 1 における記録媒体書き込みプロセスを説明するフローチャート。

図 20 は、本発明の実施の形態 1 における受信端末がユーザーに提示するログイン画面の一例を示す図。

図 21 は、本発明の実施の形態 1 における受信端末がユーザーに提示するユーザー登録画面の一例を示す図。

図 22 は、本発明の実施の形態 1 における受信端末がユーザーに提示する購読サービ

スデジタルデータ選択画面の一例を示す図。

図23は、本発明の実施の形態1における受信端末がユーザーに提示する単独販売サービスデジタルデータ選択画面の一例を示す図。

図24は、本発明の実施の形態1における受信端末がユーザーに提示するダウンロードデジタルデータ選択画面の一例を示す図。

図25は、本発明の実施の形態1におけるセキュア通信方法更新プロセスを説明するフローチャート。

図26は、本発明の実施の形態2におけるデジタルデータ配信システムの構成を示す図。

図27は、本発明の実施の形態2における記録媒体書き込みプロセスを説明するフローチャート。

図28は、本発明の実施の形態3におけるデジタルデータ配信システムの構成を示す図。

図29は、本発明の実施の形態3における記録媒体書き込みプロセスを説明するフローチャート。

図30は、本発明のデジタルデータ配信システムの構成の一例を示す図。

DESCRIPTION OF THE PREFERRED EMBODIMENT

(実施の形態1)

以下、本発明の実施の形態1について、図面を参照しながら説明する。

図2は、実施の形態1におけるデジタルデータ配信システムの実現形態の一例を示す図である。201はデジタルデータ配信サービス会社で、デジタルデータの配信を行う配信サーバーを運営している。203は、消費者が操作する受信端末であるS T B (Set Top Box) である。202はCable基地局でデジタルデータ配信サービス会社201と消費者の受信端末203をCable回線で繋ぐ。204は、配信されるデジタルデータの書き込み先である記録媒体である。205は、受信端末203に接続され、受信端末203が受信したデジタルデータを、記録媒体204へ

書き込む記録媒体アクセスマルチアダプタである。

本実施の形態では、デジタルデータとして音楽デジタルデータの場合を例に説明する。また、デジタルデータ配信システムが提供するサービスとして、1曲ごとに価格が決まっている単体販売サービス、月毎に一定金額を支払えば指定された音楽デジタルデータ群から任意の曲を予め定められた個数までは自由にダウンロードしてもよい購読サービスと、月毎に一定金額を支払えば指定された音楽デジタルデータ群から制限なく好きな曲をダウンロードしてもよい購読サービスの3サービスを例に説明する。

図3は、本実施の形態におけるデジタルデータ配信システムの構成を示す図である。本実施の形態のデジタルデータ配信システムは、配信サーバー301、受信端末302、記録媒体アクセスマルチアダプタ303から構成される。

配信サーバー301は、デジタルデータを配信するサーバーであり、ユーザー管理データベース304、デジタルデータ管理データベース305、取得権利管理データベース306、履歴データベース307、配信デジタルデータ記録手段308、配信フロントエンド309、デジタルデータ配信手段310、送受信手段311、セキュア通信手段312、セキュア通信方法更新手段313、更新制御手段314から構成される。

受信端末302は、デジタルデータを受信する端末であり、通信手段315、プラウザ手段316、アダプタ接続制御手段317から構成される。

記録媒体アクセスマルチアダプタ303は、そのアダプタを一意に特定することのできる固有のIDであるアダプタID326を有し、記録媒体327へのデータの読み書きを行うアダプタである。記録媒体アクセスマルチアダプタ303は、セキュア通信手段318、アダプタID検出手段319、媒体ID検出手段320、暗号変換手段321、復号鍵暗号化手段322、媒体アクセス処理制御手段323、記録媒体アクセスマルチアダプタ手段324、セキュア通信方法更新手段325から構成される。なお、本実施の形態においては、記録媒体アクセスマルチアダプタ303内の各構成要素は、1つのLSI（図3の破線で囲まれた部分）のなかに統合されて実装されているとする。

以下、各構成要素について説明する。

ユーザー管理データベース304は、ユーザーのアカウント情報を記録するユーザーアカウント情報データベース、ユーザーが所有するアダプタの情報を記録するアダプタ情報データベース、ユーザーが過去配信先として用いた記録媒体の情報を記録した記録媒体情報データベースの3つのデータベースで構成されるリレーションナルデータベースである。図5はユーザーアカウント情報データベースの一例を示す図であり、ユーザーID、ログイン名、パスワード、ユーザーの名前、ユーザーの住所、代金を支払うクレジットカードの種類、クレジットカード番号、それにユーザーが加入している音楽配信サービスプラン情報で構成される。図6は、アダプタ情報データベースの一例を示す図であり、このデータベースのインデックス情報であるアダプタ登録ID、そのアダプタの所持者であるユーザーID、そのアダプタの種類情報、そしてアダプタIDで構成されている。

図7は記録媒体情報データベースの一例を示す図であり、このデータベースのインデックス情報である媒体登録ID、デジタルデータの配信を受けたユーザーID、媒体の種類情報、そして媒体IDで構成される。

デジタルデータ管理データベース305は、このサイトで販売しているデジタルデータの販売サービスプランが記録されるサービス種別データベースと、デジタルデータ自体の情報、および、デジタルデータの格納場所情報が記録されるデジタルデータ情報データベースで構成される。

図8は、サービス種別データベースの一例を示す図であり、インデックス情報であるサービスID、サービス名、祖サービスの支払い方法種別である課金種別、サービスの金額、1ユーザーの総ダウンロード曲数の制限情報であるDL総曲数制限、1曲あたりのダウンロード回数の制限情報である曲当たりDL回数制限で構成されている。

図9は、デジタルデータ情報データベースの一例を示す図であり、デジタルデータIDと、デジタルデータの曲名、アーティスト名、そのデジタルデータが属しているサービスID、デジタルデータの価格、デジタルデータの格納場所情報で構成される。

取得済権利管理データベース306は、ユーザーが得た、デジタルデータを配信さ

れる権利を管理するデータベースである。図10は、その一例を示す図であり、取得済権利管理データベース306は、インデックスである権利ID、デジタルデータの配信される権利を取得しているユーザーID、そのデジタルデータのデジタルデータID、権利を取得した購入日時、デジタルデータが所属しているサービスIDで構成される。

履歴データベース307は、ユーザーが配信を受けた情報を管理する履歴データベースである。図11は、その一例を示す図であり、履歴データベース307は、インデックスである履歴ID、対象となる権利ID、処理を行った日時である処理日時、処理内容、DL先媒体IDで構成される。

配信デジタルデータ記録手段308は、配信するデジタルデータを所定の暗号化方式で暗号化した状態で記録し、その復号鍵も記録する。なお、以降、ここで使用している暗号化方式を、第一の暗号化方式とよぶこととする。

配信フロントエンド309は、ユーザーがアクセスするホームページ画面データを生成しユーザーに提供する。また、配信フロントエンド309は、生成したホームページ画面データに応じてユーザーが行った操作に応答する処理を行う。

デジタルデータ配信手段310は、配信デジタルデータ記録手段308に記録されている、暗号化された状態のデジタルデータと復号鍵を、記録媒体アクセスアダプタ303へ送信する処理を行う。

送受信手段311と通信手段315は、配信サーバー301と受信端末302間の通信処理を行う。なお、この通信は、必要に応じて、SSL（Secure Socket Layer）等、何らかの技術を利用して、セキュアに行われる。

セキュア通信手段312とセキュア通信手段318は、互いに通信し合い、配信サーバー301と記録媒体アクセスアダプタ303間にセキュアな通信経路を構築する。なお、配信サーバー301内の各構成要素と、記録媒体アクセスアダプタ303内の各構成要素との通信は、このセキュアな通信経路を介して行われるものとする。

セキュア通信方法更新手段313は、後述する更新制御手段314の指示に従って、セキュア通信手段312のアップデートを行う。

更新制御手段 314 は、例えば、セキュア通信手段 312 とセキュア通信手段 318 がセキュアな通信経路を構築する際に使用していた方法がハッキングされた場合等に、セキュア通信手段 312 およびセキュア通信手段 318 をアップデートをしその方法を変更するよう、それぞれ、セキュア通信方法更新手段 313、セキュア通信方法更新手段 325 に対し、指示する。

ブラウズ手段 316 は、ホームページ画面データを表示し、それに対するユーザーの操作を受信し処理する。

アダプタ接続制御手段 317 は、受信端末 302 と記録媒体アクセスアダプタ 303 とを接続し、配信サーバー 301 と記録媒体アクセスアダプタ 303 が、受信端末 302 を介して通信を行えるようにする。

アダプタ ID 検出手段 319 は、記録媒体アクセスアダプタ 303 に含まれる、アダプタ ID 326 を検出し、それを配信サーバー 301 へ送信する。

媒体 ID 検出手段 320 は、記録媒体 327 から、後述する媒体 ID 328 を取得し、配信サーバー 301 へ送信する。なお、記録媒体 327 は、図 4 に示すように、アクセスする際に認証が必要なセキュアデータエリア 401 と、認証が不要なデータエリア 402 とから構成されており、セキュアデータエリア 401 には、その記録媒体を一意に特定することのできる ID である媒体 ID 328 が記録されている。

暗号変換手段 321 は、デジタルデータ配信手段 310 から、第一の暗号化方式で暗号化されたデジタルデータとその復号鍵を受け取ると、まず、そのデジタルデータの復号化を行う。次に、復号化したデジタルデータを、所定の暗号化方式で暗号化する。以降、本実施の形態では、ここで暗号化に使用する暗号化方式のことを第二の暗号化方式とよぶこととする。

復号鍵暗号化手段 322 は、暗号変換手段 321 がデジタルデータを第二の暗号化方式で暗号化した際に使用した鍵を、媒体 ID 検出手段 320 が検出した媒体 ID 328 を利用して暗号化する。

媒体アクセス制御手段 323 は、記録媒体 327 にアクセスする手段である記録媒体アクセス手段 324 を制御し、記録媒体 327 へのデータの読み書きを制御する。

媒体アクセス制御手段323は、記録媒体アクセス手段324を制御し、暗号変換手段321が第二の暗号化方式で暗号化したデジタルデータをデータ領域402に記録し、また、復号鍵暗号化手段322が暗号化した鍵を、セキュアデータエリア401に記録する。

セキュア通信方法更新手段325は、更新制御手段314の指示に従って、セキュア通信手段318のアップデートを行う。

以下、各構成要素の動作について、デジタルデータ配信システムが提供する動作ごとに説明を行う。

まず、図12に示すフローチャートをもとに、デジタルデータ配信システムの全体の動作の流れを説明する。

(S1201) ユーザーは、ブラウズ手段316を用い、配信サーバー301にアクセスする。

(S1202) 配信フロントエンド309は、図20に示すような、ログイン画面のデータを生成し、受信端末302に送信する。ブラウズ手段316は、ログイン画面を表示する。

(S1203) ここで、ユーザーがこのサービスを受ける会員でない場合、後述する入会プロセスが実行される。

(S1204) ユーザーは、記録媒体アクセスアダプタ303が受信端末302に接続されていることを確認し、接続されていない場合には接続する。ここで、アダプタ接続制御手段317は、受信端末302と記録媒体アクセスアダプタ303との接続状態を制御して、配信サーバー301と記録媒体アクセスアダプタ303が、受信端末302を介して通信を行えるようにする。その後、ユーザーは、S1202で表示されたログイン画面上で、ユーザー名とパスワードを入力後、Log in ボタンを実行する。Log in ボタンが実行されると、配信サーバー301に対し、ブラウズ手段316は、入力されたユーザー名とパスワードを送信する。また、アダプタID検出手段319は、アダプタID326を検出し、配信サーバー301に送信する。なお、この際の通信は、セキュア通信手段312とセキュア通信手段318が、互いに通信し

合い構築したセキュアな通信経路を使用するものとする。以降、配信サーバー301内の各構成要素と記録媒体アクセスアダプタ303内の各構成要素との通信は、基本的に、このセキュアな通信経路を使用して行われるものとする。

(S1205) 配信フロントエンド309は、S1204で送信されてきたユーザー一名、パスワード、アダプタID326をもとに、ユーザー管理データベース304を参照し、ユーザーを特定する。その後、配信フロントエンド309は、図22に示すような、先程特定したユーザー用にカスタマイズした、ダウンロードする権利を取得したい曲の選択画面のデータを生成し、受信端末302に送信する。なお、S1204で送信されてきた情報が、不正な情報である場合には、配信フロントエンド309は、その旨をユーザーに伝え再度ログインを行うことを促す画面データを生成し、受信端末302に送信する。

(S1206) 図22に示すような画面上で、ユーザーは、ブラウズ手段316を用いて、デジタルデータをダウンロードする権利の取得、既に権利を取得したデジタルデータのダウンロード、ログアウト、のいずれを行うかを選択する。

(S1207) S1206でユーザーが、デジタルデータをダウンロードする権利の取得を選択した場合、後述するデジタルデータ選択プロセスが実行され、その後、S1206に戻る。

(S1208) S1206でユーザーが、既に権利を取得したデジタルデータのダウンロードを選択した場合、後述するデジタルデータダウンロードプロセスが実行され、その後、S1206に戻る。

(S1209) S1206でユーザーが、ログアウトを選択すると、配信サーバー301と受信端末302との接続は切断され、本プロセスは終了する。

以上で、デジタルデータ配信システムの全体の動作の流れについての説明を終わる。

図13は、入会プロセスの動作の流れを表す。入会プロセスは、ユーザーが、サービスを受ける会員になるための処理を行うプロセスである。以下、その動作について説明する。

(S1301) 配信フロントエンド309は、図21に示すようなユーザー登録画

面のデータを生成し、受信端末302に送信する。すると、ブラウズ手段316によってユーザー登録画面が表示されるので、ユーザーは、必要事項である、ユーザー名、パスワード、住所、電話番号、支払いクレジットカード情報を記入する。

(S1302) 次に、ユーザーは、加入したいサービスを選択する。ここで単独購読サービスは個々の曲購入時に支払いを行うためここで加入処理をする必要はない。ブラウズ手段316は、入力された情報を配信サーバー301に送信する。

(S1303) 次に、配信フロントエンド309は、このサービスでデジタルデータの書き込み装置として用いる記録媒体アクセスアダプタ303を、受信端末302に接続するよう促す画面を生成し、受信端末302に送信する。ユーザーは、デジタルデータの書き込み装置として用いたい記録媒体アクセスアダプタ303を、受信端末302に接続する。

(S1304) アダプタID検出手段319は、アダプタID326を検出し、配信サーバー301へ送信する。

(S1305) S1302、S1304で送信された情報は、配信フロントエンド309により、ユーザー管理データベース304に登録される。

以上で、入会プロセスの説明を終了する。

図14は、デジタルデータ選択プロセスの動作の流れを表す。デジタルデータ選択プロセスは、デジタルデータをダウンロードする権利を、ユーザーが取得するためのプロセスである。以下、その動作について説明を行う。

(S1401) ユーザーは、ブラウズ手段316を用いて、受信したいサービスを選択する。

(S1402～S1404) S1401でユーザーが選択したサービスが、購読サービスの場合には、後述する購読処理プロセスが実行される。また、S1401でユーザーが選択したサービスが、単独販売サービスの場合には、後述する単独販売処理プロセスが実行される。

以上で、デジタルデータ選択プロセスの説明を終わる。

図15は、購読処理プロセスの動作の流れを表す。購読処理プロセスは、選択され

た購読サービスによって配信されるデジタルデータをダウンロードする権利を、ユーザーが取得するためのプロセスである。以下、その動作について説明する。

(S1501) まず、配信フロントエンド309は、ユーザー管理データベース304を参照し、ユーザーが、選択された購読サービスの会員か否かを検証する。

(S1502) S1501で、ユーザーが会員で無いと判定された場合、配信フロントエンド309は、デジタルデータ管理データベース305に基づいて、選択されたサービスに属するデジタルデータを一覧表示するが、デジタルデータの選択はできない画面のデータを生成して、受信端末302に送信する。ブラウズ手段316は、その画面を表示する。

(S1503) この場合、ユーザーはブラウズ手段316を用いて、デジタルデータのリストの閲覧のみできる。

(S1504) S1501で、ユーザーが会員であると判定された場合、配信フロントエンド309は、取得済権利管理データベース306を参照し、選択された購読サービスに含まれるデジタルデータ各々について、ユーザーがダウンロードする権利を取得済みかどうかを調べる。

(S1505) 配信フロントエンド309は、デジタルデータ管理データベース305に基づいて、選択されたサービスに属するデジタルデータを、ユーザーが選択できる状態で一覧表示し、さらに、S1504でダウンロードする権利を取得済みであると判定されたデジタルデータについては、既に取得済のマークを表示する画面のデータを生成し、受信端末302に送信する。ブラウズ手段316は、その画面を表示する。この画面の一例を図22に示す。

(S1506) ユーザーは、ブラウズ手段316を用いて、取得したいデジタルデータを選択する。ブラウズ手段316は、配信サーバー301へその情報を送信する。

(S1507) 配信フロントエンド309は、S1506で送信された情報に基づいて、ダウンロードする権利の取得要求のあったデジタルデータの情報を、取得済権利管理データベース306に新規登録する。

以上で、購読処理プロセスの説明を終わる。

図16は、単独販売処理プロセスの動作の流れを表す。単独販売処理プロセスは、単独販売サービスによって配信されるデジタルデータをダウンロードする権利を、ユーザーが取得するためのプロセスである。以下、その動作について説明する。

(S1601) 配信フロントエンド309は、取得済権利管理データベース306を参照し、単独販売サービスに含まれるデジタルデータ各々について、ユーザーがダウンロードする権利を取得済みかどうかを調べる。

(S1602) 配信フロントエンド309は、デジタルデータ管理データベース305に基づいて、選択されたサービスに属するデジタルデータを、ユーザーが選択できる状態で一覧表示し、さらに、S1601でダウンロードする権利を取得済みであると判定されたデジタルデータについては、既に取得済のマークを表示する画面のデータを生成し、受信端末302に送信する。ブラウズ手段316は、その画面を表示する。この画面の一例を図23に示す。

(S1603) ユーザーは、ブラウズ手段316を用いて、取得したいデジタルデータを選択する。ブラウズ手段316は、配信サーバー301へその情報を送信する。

(S1604) 配信フロントエンド309は、ユーザーがダウンロードする権利の取得要求をだしているデジタルデータの価格を、デジタルデータ管理データベース305を参照して計算し、ユーザー管理データベース304に登録されているクレジットカード情報等の支払い用の情報を用いて、購入決済処理を行う。

(S1605) 配信フロントエンド309は、購入決済処理の行われたデジタルデータの情報を取得済権利管理データベース306に新規登録する。

以上で単独販売処理プロセスの説明を終わる。

図17はデジタルデータダウンロードプロセスの動作の流れを表す。デジタルデータダウンロードプロセスは、ユーザーが、デジタルデータをダウンロードするプロセスである。以下、その動作について説明する。

(S1701) まず、配信フロントエンド309は、取得済権利管理データベース306から、ユーザーがダウンロードする権利を取得しているデジタルデータの一覧を取得する。

(S1702) 次に、配信フロントエンド309は、S1701で取得した一覧に記載されたデジタルデータ各々について、履歴データベース307およびデジタルデータ管理データベース305を参照して、そのデジタルデータが、ダウンロード可能であるか、可能な場合、あと何回ダウンロードできるかを判定する。

(S1703) 次に配信フロントエンド309は、S1702での結果を基に、図24に示すような、ユーザーがダウンロードする権利を有するデジタルデータの一覧、およびダウンロードできる回数を示した画面データを生成して、受信端末302へ送信する。ブラウズ手段316は、その画面を表示する。

(S1704) ユーザーは、ブラウズ手段316を用い、ダウンロードしたいデジタルデータを選択する。ブラウズ手段316は、その情報を配信サーバー301へ送信する。

(S1705) 次に、媒体ID検出手段320が、記録媒体アクセスアダプタ303に装着されている記録媒体327の媒体ID328を検出し、配信サーバー301へ送信する。

(S1706) 配信フロントエンド309は、S1705で媒体ID検出手段320が送信した媒体ID328を有する記録媒体327について、後述する記録媒体正当性チェックプロセスを実行する。

(S1707) 配信フロントエンド309は、S1705で媒体ID検出手段320が送信した媒体ID328を有する記録媒体327の正当性を検証する。

(S1708) S1707で、記録媒体327は正当でないと判定された場合、配信フロントエンド309は、記録媒体が不正な可能性がある旨の警告画面のデータを生成し、受信端末302に送信する。ブラウズ手段316は、その画面を表示する。

(S1709) S1707で、記録媒体327は正当であると判定された場合、後述する記録媒体書き込みプロセスが実行される。

(S1710) 配信フロントエンド309は、デジタルデータがダウンロードされたという情報を履歴データベース307に追加する。

以上で、デジタルデータダウンロードプロセスの説明を終わる。

図18は記録媒体正当性チェックプロセスの動作の流れを表す。記録媒体正当性チェックプロセスは、ユーザーが、デジタルデータを書き込もうとしている記録媒体327の正当性をチェックするためのプロセスである。以下、その動作について説明する。

(S1801) 配信フロントエンド309は、S1705で送信されてきた媒体ID328が、ユーザー管理データベース304の記録媒体情報データベースに登録されているものかどうか検証する。配信フロントエンド309は、登録されているものであると判定した場合、S1805の処理に進む。

(S1802) S1801で、登録されていないと判定された場合、配信フロントエンド309は、同じユーザーが既に使用している記録媒体327の個数を、ユーザー管理データベース304の記録媒体情報データベースから算出し、その個数が、予め決められた規定数以上かどうかを判断する。

(S1803) S1802で、規定数以上と判定された場合、配信フロントエンド309は、チェック対象の記録媒体327は正当ではないと判断する。

(S1804) S1802で、規定数未満と判定された場合、配信フロントエンド309は、S1705で送信された媒体ID328をユーザー管理データベース304の記録媒体情報データベースに追加し、S1805の処理に進む。

(S1805) 配信フロントエンド309は、チェック対象の記録媒体327は正当であると判断する。

以上で、記録媒体正当性チェックプロセスの説明を終わる。

図19は、記録媒体書き込みプロセスの動作の流れを表す。記録媒体書き込みプロセスは、記録媒体327に、デジタルデータおよびその復号鍵を書き込むプロセスである。以下、その動作について説明する。

(S1901) デジタルデータ配信手段310は、配信デジタルデータ記録手段308に格納されている、ダウンロード要求のあったデジタルデータを、記録媒体アクセスアダプタ303へ送信する。

(S1902) デジタルデータ配信手段310は、配信デジタルデータ記録手段3

0 8 に格納されている、ダウンロード要求のあったデジタルデータに対する復号鍵を、記録媒体アクセスアダプタ 3 0 3 へ送信する。

(S 1 9 0 3) 暗号変換手段 3 2 1 は、S 1 9 0 1 でデジタルデータ配信手段 3 1 0 が送信したデジタルデータを、S 1 9 0 2 でデジタルデータ配信手段 3 1 0 が送信した復号鍵を使用して復号化する。

(S 1 9 0 4) 暗号変換手段 3 2 1 は、S 1 9 0 3 で暗号変換手段 3 2 1 が復号化したデジタルデータを、第二の暗号化方式で暗号化する。

(S 1 9 0 5) 復号鍵暗号化手段 3 2 2 は、S 1 9 0 4 で暗号変換手段 3 2 1 がデジタルデータの暗号化の際に使用した鍵を、媒体 I D 検出手段 3 2 0 が検出した媒体 I D 3 2 8 を利用して暗号化する。

(S 1 9 0 6) 媒体アクセス処理制御手段 3 2 3 は、S 1 9 0 5 で復号鍵暗号化手段 3 2 2 が暗号化した鍵を、記録媒体アクセス手段 3 2 4 を制御して、記録媒体 3 2 7 のセキュアデータエリア 4 0 1 に記録する。

(S 1 9 0 7) 媒体アクセス処理制御手段 3 2 3 は、S 1 9 0 4 で暗号変換手段 3 2 1 が暗号化したデジタルデータを、記録媒体アクセス手段 3 2 4 を制御して、記録媒体 3 2 7 のデータエリア 4 0 2 に記録する。

以上で、記録媒体書き込みプロセスの説明を終わる。

図 2 5 は、セキュア通信方法更新プロセスの動作の流れを表す。セキュア通信方法更新プロセスは、セキュア通信手段 3 1 2 とセキュア通信手段 3 1 8 がセキュアな通信経路を構築する際に使用していた方法がハッキングされた場合等に、セキュア通信手段 3 1 2 、およびセキュア通信手段 3 1 8 をアップデートし、その方法を更新するプロセスである。以下、その動作について説明する。

(S 2 5 0 1) 更新制御手段 3 1 4 は、セキュア通信方法更新手段 3 1 3 にセキュア通信手段 3 1 2 のアップデートを、セキュア通信方法更新手段 3 2 5 にセキュア通信手段 3 1 8 のアップデートを行うように指示する。なお、ここでアップデートの指示は、所定のコマンドを送信することによって行われてもよいし、アップデート用のソフトウェアを送信することによって行われてもよい。

(S 2502) セキュア通信方法更新手段313は、セキュア通信手段312のアップデートを、セキュア通信方法更新手段325は、セキュア通信手段318のアップデートを行う。

以上で、セキュア通信方法更新プロセスの説明を終わる。

以上で、本発明の実施の形態1におけるデジタルデータ配信システムに関する説明を終わる。

(実施の形態2)

以下、本発明の実施の形態2におけるデジタルデータ配信システムについて、図面を参照しながら説明する。

実施の形態2におけるデジタルデータ配信システムは、実施の形態1におけるデジタルデータ配信システムとほぼ同一のため、ここでは実施の形態1との違いのみ明記することとし、図面においては、同一の構成要素に関しては同一の符号を付加して説明する。

図26は、実施の形態2におけるデジタルデータ配信システムの構成を示す図である。実施の形態1のデジタルデータ配信システムと異なる点は、記録媒体アクセスアダプタ303内に、暗号変換手段321が存在せず、配信デジタルデータ記録手段308には、予め第二の暗号化方式によって暗号化されたデジタルデータとその復号鍵が記録されている点である。実施の形態2においては、デジタルデータ配信手段310は、配信デジタルデータ記録手段308に記録された、第二の暗号化方式によって暗号化されたデジタルデータとその復号鍵を記録媒体アクセスアダプタ303に送信する。また、復号鍵暗号化手段322は、デジタルデータ配信手段310から送られる復号鍵を、媒体ID検出手段320が検出した媒体ID328を利用して暗号化するものとし、媒体アクセス制御手段323は、デジタルデータ配信手段310から送られる第二の暗号化方式で暗号化されたデジタルデータと、復号鍵暗号化手段322が暗号化した復号鍵を、記録媒体アクセス手段324を制御して、記録媒体327に書き込むものとする。

図27は、実施の形態2における記録媒体書き込みプロセスの動作の流れを表す。

以下、その動作について説明する。

(S 2701) デジタルデータ配信手段310は、配信デジタルデータ記録手段308に格納されている、ダウンロード要求のあったデジタルデータを、記録媒体アクセスアダプタ303へ送信する。

(S 2702) デジタルデータ配信手段310は、配信デジタルデータ記録手段308に格納されている、ダウンロード要求のあったデジタルデータに対応する復号鍵を、記録媒体アクセスアダプタ303へ送信する。

(S 2703) 復号鍵暗号化手段322は、S 2702でデジタルデータ配信手段310が送信した復号鍵を、媒体ID検出手段320が検出した媒体ID328を利用して暗号化する。

(S 2704) 媒体アクセス処理制御手段323は、S 2703で復号鍵暗号化手段322が暗号化した鍵を、記録媒体アクセス手段324を制御して、記録媒体327のセキュアデータエリア401に記録する。

(S 2705) 媒体アクセス処理制御手段323は、S 2701でデジタルデータ配信手段310が送信したデジタルデータを、記録媒体アクセス手段324を制御して、記録媒体327のデータエリア402に記録する。

以上で、実施の形態2における記録媒体書き込みプロセスの説明を終わる。なお、記録媒体書き込みプロセス以外の動作は、実施の形態1と同様である。

以上で、実施の形態2におけるデジタルデータ配信システムの説明を終わる。

(実施の形態3)

以下、本発明の実施の形態3におけるデジタルデータ配信システムについて、図面を参照しながら説明する。

実施の形態3におけるデジタルデータ配信システムは、実施の形態2におけるデジタルデータ配信システムとほぼ同一のため、ここでは実施の形態2との違いのみ明記することとし、図面においては、同一の構成要素に関しては同一の符号を附加して説明する。

図28は、実施の形態3におけるデジタルデータ配信システムの構成を示す図であ

る。実施の形態2のデジタルデータ配信システムと異なる点は、復号鍵暗号化手段322が、記録媒体アクセスアダプタ303内に存在せず、配信サーバー301内に存在する点である。配信デジタルデータ記録手段308には、実施の形態2同様、予め第二の暗号化方式によって暗号化されたデジタルデータとその復号鍵が記録されているものとする。実施の形態3においては、復号鍵暗号化手段322は、配信デジタルデータ記録手段308に記録された復号鍵を、媒体ID検出手段320から送信されてくる媒体ID328を利用して暗号化する。また、デジタルデータ配信手段310は、配信デジタルデータ記録手段308に記録されている、第二の暗号化方式によつて暗号化されたデジタルデータと、復号鍵暗号化手段322が暗号化した復号鍵を記録媒体アクセスアダプタ303に送信する。また、媒体アクセス制御手段323は、デジタルデータ配信手段310から送られてくる、第二の暗号化方式で暗号化されたデジタルデータと媒体ID328を利用して暗号化された復号鍵を、記録媒体アクセス手段324を制御して、記録媒体327に書き込むものとする。

図2.9は、実施の形態2における記録媒体書き込みプロセスの動作の流れを表す。以下、その動作について説明する。

(S2901) デジタルデータ配信手段310は、配信デジタルデータ記録手段308に格納されている、ダウンロード要求のあったデジタルデータを、記録媒体アクセスアダプタ303へ送信する。

(S2902) 復号鍵暗号化手段322は、配信デジタルデータ記録手段308に格納されている、ダウンロード要求のあったデジタルデータに対応する復号鍵を、媒体ID検出手段320から送られてくる媒体ID328を利用して暗号化する。

(S2703) デジタルデータ配信手段310は、S2902で復号鍵暗号化手段322が暗号化した復号鍵を、記録媒体アクセスアダプタ303へ送信する。

(S2904) 媒体アクセス処理制御手段323は、S2703でデジタルデータ配信手段310が送信した復号鍵を、記録媒体アクセス手段324を制御して、記録媒体327のセキュアデータエリア401に記録する。

(S2705) 媒体アクセス処理制御手段323は、S2701でデジタルデータ

配信手段 310 が送信したデジタルデータを、記録媒体アクセス手段 324 を制御して、記録媒体 327 のデータエリア 402 に記録する。

以上で、実施の形態 3 における記録媒体書き込みプロセスの説明を終わる。なお、記録媒体書き込みプロセス以外の動作は、実施の形態 2 と同様である。

以上で、実施の形態 3 におけるデジタルデータ配信システムの説明を終わる。

なお、実施の形態 1～3 において、デジタルデータとして音楽デジタルデータを例に説明したが、その他の、動画、画像、書籍、ソフトウェアなどの一般的な電子データであっても良い。

なお、実施の形態 1～3 において、提供されるサービスとして、ダウンロード数が無制限な購読サービスと総ダウンロード数が一定の購読サービスを例に説明したが、これに限るものではなく、履歴データベースに記録されている情報に基づいて行えるほかの条件判定に基づくサービスであってもよい。

なお、実施の形態 1～3 において、ブラウズ手段 316 で表示される画面を図面を用いて説明したが、これらはあくまで一例であって、サービスの実装およびデザインに依存して異なる画面であっても良いものとする。

なお、実施の形態 1～3 において、記録媒体 327 は、セキュアデータエリア 401 とセキュアでないデータエリア 402 をもつ場合について説明したが、改ざん不能な媒体 ID 328 を有していればセキュアデータエリア 401 を持たない記録媒体であってもよい。

なお、実施の形態 1～3 において、受信端末 302 は、STB であるとしたが、それに限るものではなく、例えば、携帯電話や、パーソナルコンピューター等であってもよいものとする。

なお、実施の形態 1～3 において、ユーザーを認証する情報の一つとして、ユーザー名とパスワードを使用しているが、これらは、必ずしも必須でなく、アダプタ ID 326 のみ、または、アダプタ ID 326 とその他の情報との組み合わせでユーザーの認証を行ってもよいものとする。

なお、実施の形態 1～3 において、記録媒体アクセスアダプタ 303 内の各構成要

素は、1つのLSIの中に実装されているとしたが、例えば、図30に示すように、必ずしも1つのLSIの中に実装されている必要はない。

なお、本実施の形態1～3において、配信サーバー301と受信端末302との間の通信は、Cableを介して行われると説明したが、これに限るものではなく、インターネットや電話回線、衛星回線等、その他の通信回線であってもよいものとする。また、配信サーバー301から受信端末302への下り回線と、受信端末302から配信サーバー301への上り回線とで、異なる通信経路を使用していてもよいものとする。

以上説明した本デジタルデータ配信システムによれば、デジタルデータの権利管理を配信サーバーで行い、かつ、記録媒体へのインターフェース部分を、記録媒体へアクセスするアダプタ内で実装するため、消費者は、各々が所有する受信端末に、各サービス用のアダプタを接続することで、各種サービスを受信することが可能となる。また、デジタルデータ配信サービス提供業者は、新サービスを開始する際、そのサービス用のアダプタを提供することによって、構成の異なる複数の受信端末が存在する場合にも、その構成の違いを気にすることなく、サービスを開始することができるようになる。また、受信端末製造・販売業者にとっては、受信端末内に、タンパレジスタンント技術を施す必要がなくなり、受信端末の開発が容易になる。また、その為、受信端末の価格をおさえることができる。